

令和6年5月29日

TAC建築士講座 無料オンラインセミナー

**一級建築士学科 直前対策**  
**～正しいラストスパートのかけ方～**

**決定版**

TAC新宿校・ビデオブース講座・Web通信講座 担当  
井澤 真悟

はじめに

- I. TAC「一級学科直前パック」の特長
- II. 公開模試
- III. 残り2か月で結果を出すための「10の鉄則」
- IV. 本試験で法規を制限時間内で解き終えるために
- V. このタイミングでつくりたい「まとめノート」
- VI. ポイント整理、実例対策に「井澤式 比較暗記法、実例暗記法」の活用
- VII. 「法規 出題予想講座」のご案内 第1弾「法改正」、第2弾「告示」
- VIII. 本試験当日「井澤ひとり感想戦」予告

さいごに

資格の学校  
**TAC**

## はじめに

- ・ここからの2か月で合否が変わる！最後のふんばりどころ！
- ・ここまで順調な方は絶対に油断しないように。
- ・予定どおり進んでいない方はこの2か月で一発逆転！
- ・何もしなければあっという間に過ぎる。1日1日を大切にすれば何でもできる。

## I. TAC「一級学科直前パック」の特長

- ・パンフレット参照。
- ・直前期の「正しいラストスパートのかけ方」のキモは「忘れていたことを思い出す勉強」と「あいまいなものを整理する勉強」のバランス

### 1. 直前テスト（5科目 125問×4週）⇒「忘れていたことを思い出す勉強」

★注意★ 毎回、法令集持参

### 2. 総まとめ講義（60分×4週）⇒「あいまいなものを整理する勉強」

- 第1週 法規
- 第2週 構造
- 第3週 計画、環境・設備
- 第4週 施工

- ・知識の整理が必要な重要テーマについての最後の理解のチャンス。

#### 【例】法規

- ・構造計算適合性判定のいる、いらぬ
- ・限界耐力計算、保有水平耐力計算を行ったときに規定を適用する、しない
- ・既存不適格建築物
- ・講義資料は毎週配付
- ・無料体験はありません。

## II. 公開模試

- ・パンフレット参照。
- ・必ず期日に受験。
- ・公開模試の未受験者の結果は良くないことがデータで立証されています。
- ・目標にして頑張る。自信がないとか言っている場合ではない。
- ・総合学科本科生・学科本科生・上級学科本科生は、コースの中に直前パック、公開模試が含まれています。

### Ⅲ. 残り2か月で結果を出すための「10の鉄則」

#### 鉄則1 教材の優先順位

##### ① 直前期の教材（直前テスト4回、総まとめ講義、公開模試）

###### <公開模試を受験する際の注意点>

- ・出来ない問題を出来るように復習しないとまったく意味がない。
- ・全部の問題の解説を熟読している時間はないので、受験しながら「？」などを付けて復習しやすいようにする。
- ・どのスクールでも公開模試にはサプライズ問題として新規問題を出題するが、復習の際に、それらを100%理解しようとする必要はない。もちろん、過去問か、新規問題かを判断できないようでは勉強量が足りない。
- ・サプライズ問題で自信を無くさないことが大事。
- ・「忘れていたことを思い出す勉強」のきっかけにすることが大事。

##### ② 今までに実施した中間テスト、確認テスト、法規特訓テストの復習

##### ③ あとはひたすら問題集の実施

- 年度別問題集 ・ 本試験での点数・実力の把握  
 ・ 忘れ防止  
 ・ むらのない学習  
 ・ 取りこぼしを防ぎ、全体の得点アップ  
 ・ 弱点の確認
- 項目別問題集 ・ 弱点の集中補強

#### 鉄則2 自分の実力の把握

##### ① 科目ごとの基準点・目標点の確認

★ポイントは、「法規と構造で最低45点・目標50点を取る」こと！

科目	出題数	科目基準点	合格最低条件		目標	
			得点	得点率	得点	得点率
計画	20	11	14	70%	16	80%
環境	20	11	14	70%	16	80%
法規	30	16	24	80%	26	87%
構造	30	16	21	70%	24	80%
施工	25	13	17	68%	18	72%
合計	125	67	90	72%	100	80%

1、2年前はほとんど出ない

1、2年前も出る

暗記系科目  
新規問題多い

ただし、  
合否の差が  
付くのは  
過去問です。

※近年の合格基準点の補正

(R1\_97点) (R2\_88点\_環境10点) (R3\_87点\_計画10点) (R4\_91点) (R5\_88点)

- ② 自分の弱点科目を把握して、科目ごとの学習時間の配分を考える！
- ③ 可能であれば直前1週間は休暇を取ることも検討してみてください。

### **鉄則3** 直前期の勉強時間配分

#### 3-1 科目ごとの勉強時間配分

- ・法規と構造で目標点の半分を取る。
- ・計画、環境、施工の中で、環境が弱点科目だったら
  - ⇒ 計画：環境：法規：構造：施工
  - 1 : 2 : 3 : 3 : 1
  - ⇒ あと40日\*だとしたら

4日：8日：12日：12日：4日

※6/16(新宿は直前テスト1回、他校舎は施工最終回)であと42日。

- ・例えば「計画」ならば、集中すれば項目別問題集全部を1日で総チェックできる。問題集を解くのは3回目、4回目ははず。

#### 3-2 「忘れていたことを思い出すための“量”の勉強時間」と 「あいまいなものを整理するための“質”の勉強時間」は、 7：3～8：2

- ・「忘れていたことを思い出す勉強」のためには、問題集を幅広く解きな出すことが必要。今まで一所懸命頑張っても理解できなかった問題は、時間がかかって効率が悪いので「捨てる勇気」も必要。
- ・あいまいなまま数多く解いてもダメで、確実な知識にするために整理することが得点UPにつながる。

### **鉄則4** 新しい問題に取り組むより、今までに間違えた問題の見直しが何より効果的！

今までに実施した中間テスト、確認テスト、法規特訓テストで間違えた問題を見直して、解けるようにすることが何より効果的！

### **鉄則5** 出来ない問題を1肢ずつ緻密に、愚直に、堅実に無くし、出来ない問題を絞り込む

- ・出来ない問題に選択肢ごとに(√□☒)やフセンなどを立てる。
- ・出来る問題を何度やっても得点UPには直結しない。
- ・直前期に、出来る問題の解説を熟読する必要はない。
- ・直前期に、問題集を解きながらテキストのどこに書いてあるか探している時間はもったいない。テキストに整理してあるものを確認するのは有効だが。

### **鉄則6** 法規の時間配分をしっかりと(Ⅳ参照)

令和6年からは告示が出題されるようになり、解答に時間がかかるようになるため、今までよりも時間に余裕を持たせることを意識する。

**鉄則7 「法規」と「力学の計算問題」が苦手な人は毎日欠かさずに！**

ブランクがあると鈍ります。

**鉄則8 「まとめノート」を作る（V参照）**

試験開始直前まで眺めて思い出すべきものをまとめる。

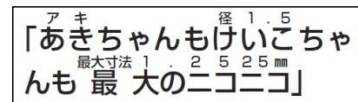
**鉄則9 最後はゴロ合わせで丸暗記**

理屈を間違えて覚えてしまったものや、何度も間違えるものは、ゴロ合わせ等で覚えるしかない！

---

【例】施工：鉄筋相互のあき寸法

- ① 異形鉄筋の呼び名(径)の1.5倍
- ② 粗骨材の最大寸法の1.25倍
- ③ 25mm



---

**鉄則10 TAC建築士講師室ブログ「井澤式 比較暗記法、実例暗記法」の活用（VI参照）**

## IV. 本試験で法規を制限時間内で解き終えるために

- ・すべての選択肢を法令集で確認している余裕はない。
- ・法規の本試験は1問3.5分なので、10問35分で時間管理する。
- ・どの問題から解いていくか。
- ・「本試験での時間短縮」の具体的な方法と、そのために必要な「普段の勉強」のポイントは次のとおり。

### 1. 本試験での時間短縮について

法規では「誤っているもの」を選択する問題が多い。それを例に、各選択肢を「誤りの可能性」等の点から次の4つに分類したとき、次のようなイメージで問題を解いていくことが、本試験の制限時間内で解き終えるためのポイントとなる。

特に表の3の選択肢の解き方を間違えると制限時間内に終わらないので、要注意！

選択肢の4つの分類	本試験での解き方	備考
1. 暗記している内容で「誤り」を確信できる選択肢	それを解答として、それ以降の選択肢は見ずに次の問題に移る。	それ以降の選択肢を見ていると時間が無くなる。
2. 「多分この肢が誤りだろう」と強く思える選択肢	それを法令集で調べて、「誤り」であることを確認して、それ以降の選択肢は見ずに次の問題に移る。	
3. 「この肢が誤りかもしれない」と思う選択肢や、「条文の場所は分かるが、誤りか見当が付かない」という選択肢（こういう選択肢が多い）	①そのような選択肢を1肢ごとに法令集で調べず、まずはそれ以降の選択肢も一通り見る。 ②すべての選択肢を一通り見て、「誤り」の第一候補を法令集で調べる。 ③もしも第一候補が外れた場合は、第二候補を調べる。 ④もしも第二候補も外れた場合は、第三候補を調べずに、その問題は飛ばして次の問題に移る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これを1肢ごとに法令集で調べると時間が無くなる。</li> <li>それ以降の選択肢の中にもっと「誤り」の可能性が高い選択肢があることがあるため、一通り見ることが有効。</li> <li>左記④の補足 選択肢を3つも法令集で調べている時間はない。第二候補も外れるような場合は、勉強量が足りなかったか、若しくは、その問題は難しい。</li> </ul>
4. 条文の場所の見当が付かない選択肢	法令集で調べない。あてずっぽうで条文を探している時間はない。	

本試験での時間短縮のポイントは「多分この肢が誤りだろう」「この肢が誤りかもしれない」という絞り込みができること、そしてその勘所が当たること！  
 そのためには問題集の実施あるのみ！

## 2. 本試験での時間短縮のための「普段の勉強」におけるポイント

本試験では上記のように短時間で解かなければならないが、普段の勉強では、逆に、どうしたら本試験で早く解けるようになるかを「じっくり」考える。

具体的には時間短縮のために、次のような対策を「じっくり」行うことが大事。

- ① 過去問を理解して覚える。  
完全に覚えきれない場合であっても「多分この肢が誤りだろう」「この肢が誤りかもしれない」という勘所が効くようにすることが大事。
- ② 線引きを工夫して、条文の内容が一目で分かるようにする。
- ③ インデックスシールを工夫して、条文の場所に早くたどり着けるようにする。
- ④ 法から施行令に飛んでいる部分を直接施行令に飛べるようにする。
- ⑤ 電車の中も有効活用する。  
「過去問を理解して覚える」ためには、必ずしも法令集は必要ない。したがって、電車の中なども有効に使える。自宅などでじっくり法令集を見ながら解いた問題の結果を覚えるために、翌日の電車の中で復習することも効果的。

## V. このタイミングでつくりたい「まとめノート」

- ・試験開始直前まで眺めて思い出すべきものをまとめる。  
数値が覚えられないときや、何かと混乱しているときは、整理するチャンス！  
→ 表にして整理する。語呂合わせで覚える。まとめノート・暗記ノートを作る。  
→ あいまいなもの、モヤモヤしたものを正確に覚えるために自分で整理をする努力を決して惜しまないこと。
- ・作るタイミングは、問題集を3回解いた頃が有効。
- ・「覚えられないもの」「なんか逆な気がするもの」などの項目でまとめるのも有効。
- ・後で自分が何を書いたのか分からなくなった時のために、テキスト页数や問題集の出題年度・番号・肢などをメモしておくといい。(テ p 121、H30182、確 2-13)

	木	鋼	柱
組長比入	柱 150 以下 (構造耐力上主要な部分)	梁(柱以外) 250 以下	柱 200 以下
円筒形角		$\frac{1}{200}$ ( $\sigma=0.2$ 計算)	$\frac{1}{120}$ (構造耐力上主要な部分の変形による建物物に著しい損傷を生じるときは異なる場合)
たわみ		$\frac{1}{250}$	ALC スライド構造 カーブプレート工法

スリット付断熱材の断熱性能	0
非常用出入口の開口	40mm以下
地下街の開口	30mm以下
非常用EV充電設備	600mm/層
温度対策	自然電球
LED電球	LED電球の消費電力が9%
自然電球の電圧	2850K
日光色	6500K
LED電球の消費電力	100lm/W

## VI. ポイント整理、事例対策に 「井澤式 比較暗記法、事例暗記法」の活用

<http://kentikushi-blog.tac-school.co.jp/> (QRコード参照)



井澤式 建築士試験 比較暗記法 No.352(降伏比・幅厚比・細長比)



井澤です

### ■問題 1

降伏比の小さい鋼材を用いた鉄骨部材は、一般に、塑性変形能力が小さい。(一級構造：平成26年No. 29)

### ■問題 2

鉄骨構造のラーメン構造において、靱性を高めるために、塑性化が予想される柱又は梁については、幅厚比の大きい部材を用いる。(一級構造：平成25年No. 16)

### ■問題 3

有効細長比 $\lambda$ が小さい筋かい( $\lambda=20$ 程度)は、有効細長比 $\lambda$ が中程度の筋かい( $\lambda=80$ 程度)に比べて変形性能が高い。(一級構造：平成22年No. 16)

### ■解答

問題 1 誤。

問題 2 誤。

問題 3 正。

さっそくポイントを確認しましょう。

### ———ポイント———

鉄骨構造で出てくる次の3つの「比」は、  
すべて小さいほど塑性変形能力が高い。

- ・ 降伏比
- ・ 幅厚比
- ・ 細長比

3つの「比」を覚える語呂合わせ

「幸 福 は細く長く」

降伏比 幅厚比 細長比



それでは、それぞれ少しだけ詳しく説明しましょう。

■降伏比

降伏比（降伏強度／引張強度）が小さいほど、降伏してから最大強度（＝引張強度）までの余裕があり、塑性変形能力が大きくなります。

■幅厚比

幅厚比（幅／厚）が小さいほど、薄っぺらくなくなり（ピンと来なかったら絵を描いて！）、局部座屈が生じにくくなり、塑性変形能力が大きくなります。

■細長比

細長比（座屈長さ／断面二次半径）は、文字通り、細長さを表すので、細長比が小さいほど、細長くなりません。すると、座屈が生じにくくなり、塑性変形能力が大きくなります。（座屈は抵抗力が急激に低減します。）

塑性変形能力についても確認しておきましょう。

—————ポイント—————

「靱性が高い」＝「粘り強い」＝「塑性変形能力が高い」＝「変形能力が高い」

すべて、同じ意味です。

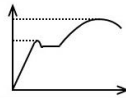
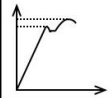
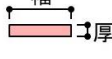



すべて、降伏後に抵抗力が急激に低減することなく、塑性域でも変形し続ける能力が高い、という意味です。

ついでに次のことも確認しておきましょう。

—————ポイント—————

一般に、**A B比**と言え、**A／B**です。

- ・幅厚比は、幅／厚
- ・径厚比は、径／厚（鋼管の場合）
- ・水セメント比は、水／セメント（質量比）
- ・セメント水比は、セメント／水（質量比）

		降伏比・幅厚比・細長比	
		小	大
幸 福 は 細 く 長 く	降伏比	 靱性が高い <b>良</b>	
	幅厚比	 局部座屈しにくい <b>良</b> 【靱性が高い】	
	細長比	 座屈しにくい <b>良</b> 【靱性が高い】	

Copyright© TAC Co.,Ltd. All Rights Reserved.

## VII. 「法規 出題予想講座」のご案内

### 第1弾 法改正 (15 テーマ、予想問題 26 問)

- ・建築物の構造上やむを得ない場合における**容積率・建蔽率・高さ**の限度に係る特例許可の拡充 (**省エネ対策**)
- ・住宅等の機械室等の**容積率**不算入に係る認定制度の創設 (**給湯設備。省エネ対策**)
- ・倉庫等の大規模庇等に係る**建蔽率**算定上の建築面積の算定方法の合理化 (**特例軒等**)
- ・階数に応じて要求される**耐火性能基準**の合理化 (**1.5 時間、2.5 時間**)
- ・宅地造成及び特定盛土等規制法 (**盛土規制法**) などなど

### 第2弾 告示 (告示 20 本、予想問題 22 問)

- ・建築物の周囲において発生する通常の火災時における火熱により**燃焼するおそれのない部分**を定める件 (法 2 条六号ロ関係)
- ・建築基準法第 27 条第 1 項に規定する**特殊建築物の主要構造部**の構造方法等を定める件 (法 27 条 1 項、令 110 条の 2 第二号関係)
- ・**防火地域又は準防火地域内**の建築物の部分及び防火設備の構造方法を定める件 (法 61 条関係)
- ・**定期報告**を要しない通常の火災時において避難上著しい支障が生ずるおそれの少ない建築物等を定める件 (令 16 条関係)
- ・警報設備を設けることその他これに準ずる措置の基準を定める件 (**異種用途区画**) (令 112 条 18 項ただし書関係)

## VIII. 本試験当日「井澤ひとり感想戦」予告

- ・私と一緒に「本試験お疲れ様でした！」をしようという企画です。
- ・ずっと本試験に向けて頑張ってきたみなさんに、お酒でも飲みながら軽い気持ちで本試験とそれまで頑張ってきた日々を振り返ってもらおうという企画です。
- ・解答番号の発表はもちろん、
  - みなさんが何番を選び、それに対して井澤はどう考えるか
  - あの問題はどう考えれば良かったか
  - できなければいけなかった問題、できなくても良かった問題 などなど井澤にしかできない、試験内容についての突っ込んだ話をしていきたいと思ひます。
- ・詳細は 6 月以降にマイページ、ホームページで発表します。 乞うご期待！

## さいごに

- ・「何が何でも合格する」という強い意志こそが原動力！
- ・がむしゃらに一級建築士合格に全集中！
- ・自分は最後まで頑張り抜いて結果を出せる人間だと証明しましょう！
- ・粘り強く、ギリギリまで悪あがきをしましょう！
- ・電車の中でも、トイレの中でも1点のために勉強しましょう！本試験ではホントに1点で泣いたり笑ったりするんですから。
- ・設計・工事監理は建築士の独占業務ですから、建築士でなければ、あなたは「ただのアシスタント」です。なんとしても建築士になってください。

以上